

MATSUMOTO Architecture+Art Festival


会期 | 2022年1月29日[土]～2月20日[日]
 会場 | マツモト市内20箇所
 主催 | マツモト建築芸術祭実行委員会
 委員長: 齊藤忠政 (扉ホールディングス株式会社代表)
 総合ディレクター: おおうちおさむ (有限会社ナノグラフィックス代表)
 助成 | 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業
 後援 | 松本市、松本市教育委員会、長野県、松本商工会議所、信濃毎日新聞社、市民タイムス、中日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMまつもと
 協力 | 扉ホールディングス株式会社、ダイソン株式会社、有限会社アルブ、株式会社明神館、青山目黒、SixSense株式会社、一般財団法人 松澤有サイの部屋、株式会社アルガオートサービス、GALLERY MoMo、仁礼大介、SCAI THE BATHHOUSE、rin art association

アーティストサポート

SUNPRO
 扉ホールディングス株式会社
 松本ホテル旅館協同組合
 一般社団法人松本観光コンベンション協会
 松本信用金庫
 株式会社興設計
 株式会社小林創建
 三協電気工業株式会社
 株式会社村瀬組

有限会社エポンジュ
 株式会社大月酒店
 株式会社五幸
 株式会社八幡屋職五郎
 有限会社池田
 野村證券株式会社
 株式会社リールガルエキスパート
 松本商工会議所
 サンリン株式会社

展示会場
 18 19
 「旧司祭館」の隣で、キッチンカー出店! 温かいドリンク、フードを各種販売中!



MATSUMOTO Architecture+Art Festival Area MAP

maaf.jp

*マツモト建築芸術祭の専用駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

MATSUMOTO Architecture+Art Festival

名建築に住み着く
アートが住み着く
マツモトの冬。

建築芸術祭

maaf.jp

2022 1/29 sat 2/20 sun

@matsumoto.aaf

MATSUMOTO Architecture+Art Festival

名建築に住み着く
アートが住み着く
マツモトの冬。

建築芸術祭

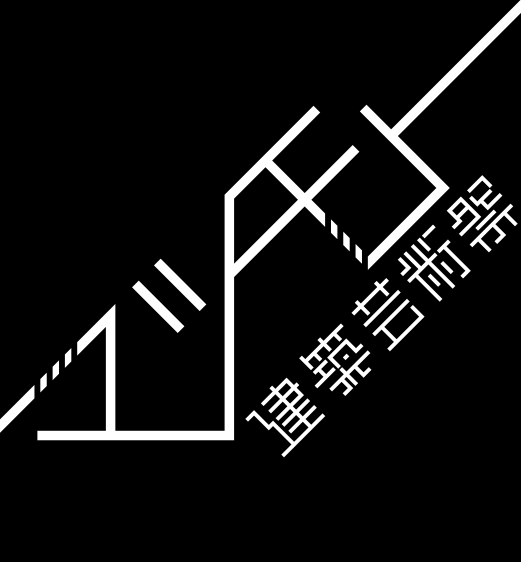
maaf.jp

2022 1/29 sat 2/20 sun

@matsumoto.aaf

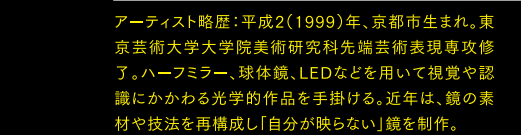
松本市の名建築20箇所を会場に、17名のアーティストが作品を展示します。アートによって名建築が新しい姿を現し、その価値を再発見する芸術祭です。

MATSUMOTO Architecture+Art Festival
Area introduction
開場時間・休館日は変更になる可能性があります。
公式HPでご確認ください。



1 まつもと市民芸術館
松本市深志3丁目10-1 会場の開館時間にならう

Artist 井村一登 Kazuio Imura
建築紹介：平成16(2004)年に建設された、舞台芸術のための文化施設。4階のバルコニー席がある馬蹄形のホールは、4面舞台を備える。屋上はラックが植えられた芝生広場になっており一般開放されている。音響家が選ぶ優良ホール100選。



アーティスト略歴：平成2(1999)年、京都市生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。ハーフミラー、球体鏡、LEDなどを用いて視覚や認識にかかわる光学的作品を手掛ける。近年は、鏡の素材や技法を再構成し「自分が映らない」鏡を制作。

2 池上邸 土蔵
松本市中央3丁目13-15 11:00-17:00

Artist 磯谷博史 Hirofumi Isoya
建築紹介：明治時代に庄屋を務めていた家の土蔵で、米蔵として建てられた。屋根は寄棟で、モルタルの外壁はこてと洗い出しでモダンに仕上げられている。人形学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら作品を発表する。写真、彫刻、ドローイング、それら相互の間わりを通して、事物への認識を再考する。



アーティスト略歴：昭和53(1978)年、東京都生まれ。東京芸術大学建築学を卒業後、同大学大学院先端芸術表現科、ロンン大学ゴールドスミスカレッジで美術を学ぶ。写真、彫刻、ドローイング、それら相互の間わりを通して、事物への認識を再考する。

3 長野県宝 旧念来寺鐘楼
松本市中央4丁目9-13 妙壽寺 16:00-19:00

Artist 山内祥太 Shota Yamauchi
建築紹介：宝永2(1705)年築の総檜造の鐘楼。明治5(1872)年に廃仏毀釈で廃寺となり伽藍は壊されたが、鐘楼は「時の鐘」の役割を果たすため破壊を免れた。戦時中に供出され失われていた鐘と欄干の飾りは、令和2(2020)年の修理工事で復元した。



アーティスト略歴：平成4(1992)年、岐阜県生まれ。東京芸術大学映像研究科メディア映像専攻修了。テクノロジーと人間の間に横たわる様々な感情を、インスタレーションやパフォーマンスを通して描き出す。近年は皮膚や匂いなど触覚的なモチーフも用いる。

4 国登録有形文化財 松本市近代遺産 かわかみ建築設計室
松本市大手5丁目1-3 11:00-17:00

Artist ロッテ・ライオン Lotte Lyon
建築紹介：大正14(1925)年、木造2階建ての医院併用住宅として建設された。正面だけではなく4面とも洋風に仕上げた看板建築。上げ下げ窓を縦のラインで強調したデザイン。花や幾何学模様のステンドグラスが、アールヌーボーを感じさせる。



アーティスト略歴：昭和45(1970)年、オーストリア生まれ。ウィーンとベルリンで彫刻を学び、現在はウィーンに拠点を構える。日常的な素材を用いたミニマムな彫刻を得るとする。ヨーロッパを中心に展示、発表中、日本でも活動の域を広げている。

5 国登録有形文化財 松本市近代遺産 レストランヒカリヤ
松本市大手4丁目7-14 11:00-17:00 水曜定休 2/3休

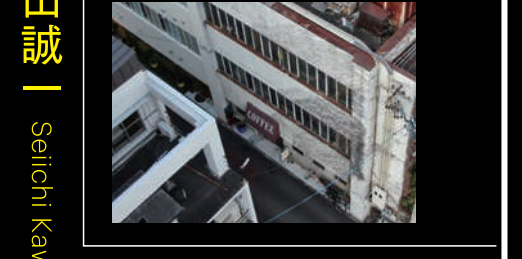
Artist 石川直樹 Naoki Ishikawa
建築紹介：明治20(1887)年、地元の名門商家が建てた古民家。取り壊しが検討されていたが、平成19(2007)年に飲食店として再生。まご盛と黒漆喰の外壁に観音扉付きの窓が印象的な蔵屋敷は、江戸時代の高度な木造建築技術が生かされている。



アーティスト略歴：昭和52(1977)年、東京都生まれの写真家。東京芸術大学大学院美術研究科修士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら作品を発表し続けている。写真館の4代目としてポर्टレート得意とし、現在も広告写真の第一線を走り続ける。

6 珈琲茶房かめのみ
松本市大手4丁目7-22 10:00-18:00 水曜定休

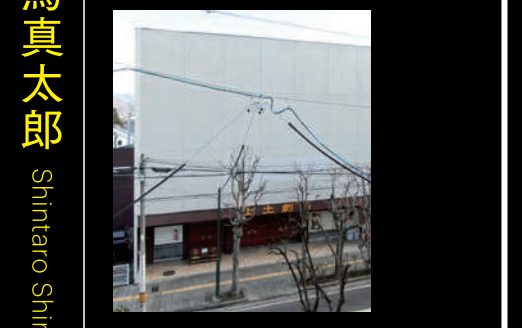
Artist 河田誠一 Seichiro Kawata
建築紹介：明治44(1911)年創業の老舗菓子店が喫茶を構えていた場所に、平成28(2016)年リニューールオープンした自家焙煎コーヒーの専門店。60年近く地元で愛されてきた証を残したいと、照明や調度品、坪庭などは当時のまま残されており、土土通りの味わいを深めている。



アーティスト略歴：昭和41(1966)年、東京都生まれ。日本メンスアパレルアカデミー、セツモードセミナー卒業。日本美術界で「フォービズムの画家」と位置付けられている熊谷守一の玄孫で、ファッションデザイナー、画家、ダンサーと多岐な顔をもつ。

7 国登録有形文化財 松本市近代遺産 上土劇場 (旧ピカデリーホール)
松本市大手4丁目7-2 11:00-17:00 2/2休

Artist 白鳥真太郎 Shintaro Shiratori
建築紹介：昭和35(1960)年に建てられた映画館。平成10(1998)年に閉館したが、地元新聞社が買い併用住宅として改修され「ピカデリーホール」として生まれ変わった。現在は「上土劇場」と名を変え、地域の芸術文化活動の拠点となっている。



アーティスト略歴：昭和35(1960)年、秋田県生まれ。絵画、彫刻、歌、手芸、おとぎ話、映像など様々なメディアや、地形や気候なども巻き込むサイトスペシフィックな表現を通して、人間の文化の原型である狩猟採集の再考、視覚芸術の根源的な問い直しを続ける。

8 松本市近代遺産 白鳥写真館
松本市大手4丁目8-12 屋外展示

Artist 白鳥真太郎 Shintaro Shiratori
建築紹介：大正13(1924)年に建設された写真館で、火災により2階建てに減築された。整然と配置した上げ下げ窓やタイル張りの柱室部分で縦のラインを強調し、大正時代らしい面影を残す。バルコニーの手すりは繊細な細工が施されている。



アーティスト略歴：松本市出身の写真家。千葉大学工学部写真工学科卒業。資生堂宣伝部写真部、博報堂写真部を経て、平成元(1989)年に白鳥写真事務所を設立。写真館の4代目としてポर्टレート得意とし、現在も広告写真の第一線を走り続ける。

9 下町会館
松本市大手4丁目8-11 11:00-17:00

Artist 土屋信子 Nobuko Tsuchiya
建築紹介：昭和3(1928)年、薬屋として建設された木造3階建ての看板建築。老朽化により再生工事を行い、平成7(1995)年にまちづくりの拠点施設としてリニューアルした。建物正面は当時のまま残されており、土土通りの味わいを深めている。



アーティスト略歴：現代美術作家。様々な素材を用い、抽象的かつ空想的で鑑賞者の五感を刺激する個性的な立体作品を制作し、海外でも多く発表する。トリフと空にコックピットと惑星のイメージを融合した作品など、未来的とも思える世界観が特徴。

10 松本市近代遺産 上土シネマ
松本市大手4丁目10-12 10:30-17:00 *Information center + shop

Artist 鴻池朋子 Tomoko Konoke
建築紹介：松本市の上土通りで90年にあたって親しまれ、平成20(2008)年に惜しまれつつ閉館した老舗映画館。大正時代に市民有志により開館し、昭和42(1967)年頃、木造一部鉄筋コンクリート造の建物に改築したといわれている。



アーティスト略歴：昭和35(1960)年、秋田県生まれ。絵画、彫刻、歌、手芸、おとぎ話、映像など様々なメディアや、地形や気候なども巻き込むサイトスペシフィックな表現を通して、人間の文化の原型である狩猟採集の再考、視覚芸術の根源的な問い直しを続ける。

11 国登録有形文化財 松本市近代遺産 割烹 松本館
松本市丸の内7-39 11:30-17:00

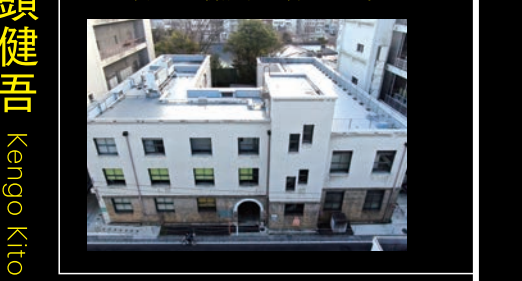
Artist 太田南海 Nankai Ota
建築紹介：明治23(1890)年創業の老舗料亭。目黒雅義館に感銘を受けた2代目当主が、松本にも賓客をもてなす施設を作りたいと昭和10(1935)年頃に建設した。豪華絢爛な大広間、異国情緒あふれる手洗所など拡張高い空間となっている。



アーティスト略歴：明治21(1888)年生まれ、松本市出身の彫刻家。米原雲海に入門し、善光寺仁王像や松平直政公騎馬像の制作にも携わった。岡倉天心に絵の才能を見出され、彫刻のみならず日本画の作品も残している。昭和34(1959)年、70歳の生涯を閉じた。

12 松本市近代遺産 NTT東日本松本大名町ビル
松本市大手3丁目3-9 11:00-20:00

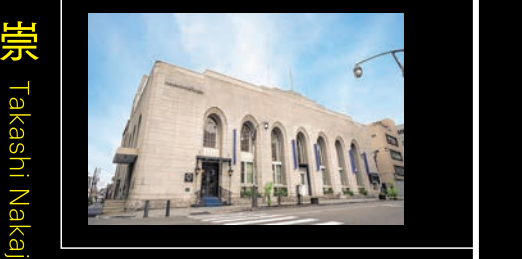
Artist 鬼頭健吾 Kengo Kito
建築紹介：昭和5(1930)年頃、松本郵便局電話分室として建設された。入口に「全国電気通信労働組合松本分室」の看板が残る。白い外壁とレンガの対比が美しい鉄筋コンクリート造で、アーチの門を抜けると中庭があり開放的な空間が広がる。



アーティスト略歴：昭和52(1977)年、愛知県生まれ。名古屋芸術大学絵画科洋画コース卒業、京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修了。フラップなど工業製品のカラフルさに、生命体や宇宙を感じさせる広がりを感じた作品を制作する。

13 国登録有形文化財 松本市近代遺産 アルモニービアン (旧第一勧業銀行松本支店)
松本市大手3丁目5-15 屋外展示

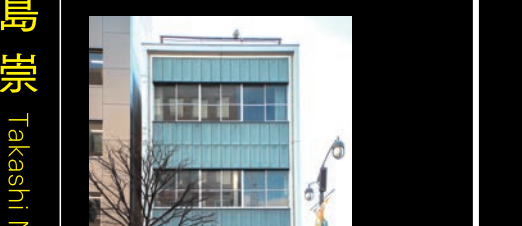
Artist 中島崇 Takashi Nakajima
建築紹介：昭和12(1937)年に建設された、第一勧業銀行松本支店として建てられた。大きな吹き抜け空間をもつ鉄筋コンクリート造で、縦窓を囲うアーチが印象的。取り壊しの計画もあったが保存を願う2万人の署名が集まり、結婚式場として再生した。



アーティスト略歴：昭和47(1972)年、東京都生まれ。泉沢デザイン研究所写真研究科卒業。造形や彫造、その「場」に立ち会った人々の間で多角的に共有される空間を通じて、有機的な関係性を創り出す大規模なインスタレーション作品を制作する。

14 コーヒーラウンジ紫陽花
松本市大手3丁目8-11 屋外展示

Artist 中島崇 Takashi Nakajima
建築紹介：昭和48(1973)年に船乗りだった先代が各国料理を紹介したいと、商社の1階を改装して始めた喫茶店。屋上からは松本城を眼下に見ることができ、サロンコンサートなど情報発信の中心地として松本の文化を牽引してきた。



アーティスト略歴：昭和55(1980)年、埼玉県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。[B BOY] (ブレイクダンスをする人)の木彫を軸に、ドローイング、版画、写真、映像など平面作品の制作も行う。

15 松本市近代遺産 旧宮島肉店
松本市丸の内9-24 11:00-17:00

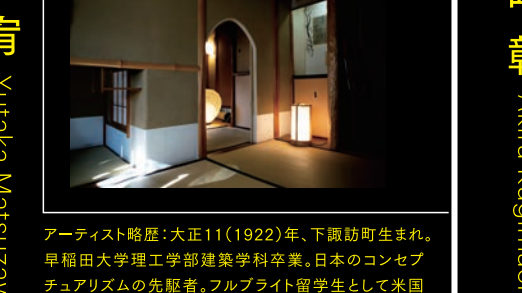
Artist 五月女哲平 Teppel Soutome
建築紹介：明治28(1895)年頃に創業した松本で最初の精肉店で、昭和初期に建設され、昭和41(1966)年頃まで営業していた。Mの字をモチーフにしたマークや、控えめながらも丁寧にデザインされた仕上げ部分が建物全体を引き立てている。



アーティスト略歴：昭和55(1980)年、栃木県生まれ。東京造形大学美術学部絵画科卒業。絵画作品を中心に、立体、写真、映像などを組み交えた作品を発表する。近年は絵具の積層に、アクリル、写真、ガラス、シルクスクリーンなどが介在する取り組みを行う。

16 池上百竹亭 茶室
松本市丸の内10-31 11:00-17:00

Artist 松澤有 Yutaka Matsuzawa
建築紹介：昭和33(1958)年に建てられた私邸で、日本の伝統を伝える和室と茶室、露地や竹林が醸し出す閑静な庭園に文化人が多く集った。茶室は京都から専門の工や建具職人を呼んで作らせたという。平成7(1995)年に松本市に寄贈された。



アーティスト略歴：大正11(1922)年、下諏訪町生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。日本のコンセプト・リアリズムの先駆者、フルブライト留学生として米国の学んだ後も、地元の高校教師をしながら芸術活動を続け、平成18(2006)年に84歳の生涯を閉じた。

17 国登録有形文化財 松本市近代遺産 松本聖十字教会
松本市開智1丁目6-25 12:00-15:00 日曜ミサ閉館

Artist 小畑多丘 Taku Obata
建築紹介：明治43(1910)年に建設された本道教会で、昭和32(1959)年、現在地に移築され一部増築した。ゴシック様式の印象を与える尖頭アーチを多用している。礼拝堂は高さ広さを備えた開放的な空間で、人々を包み込むような荘厳さがある。



アーティスト略歴：昭和55(1980)年、埼玉県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。[B BOY] (ブレイクダンスをする人)の木彫を軸に、ドローイング、版画、写真、映像など平面作品の制作も行う。

18 長野県宝 旧司祭館 2階
松本市開智2丁目6-24 9:00-17:00 月曜休館

Artist 本城直季 Naoki Honjo
建築紹介：明治22(1889)年に宣教師の住居として建設され、平成3(1991)年、現在地に移築した。長野県内に残る最古の西洋館で、開放的なベランダが特徴的。全ての個室に暖炉が備えられており、本格的な洋風住宅建築としての価値が高い。



アーティスト略歴：昭和53(1978)年、東京都生まれ。東京工芸大学大学院芸術研究科メディアアート修了。都市の姿をジオラマのように撮影する独特の表現は、この世界の実在と虚構を問いかける。また様々な地域を通して、街や人の営みを見つめている。

19 長野県宝 旧司祭館 1階
松本市開智2丁目6-24 9:00-17:00 月曜休館



アーティスト略歴：昭和43(1968)年神奈川県生まれ。多摩美術大学大学院絵画科日本画専攻修了。岩井8大学メディアアート科修士課程修了。和紙、墨、岩絵具を用い、写真や映像などのデジタル技術を駆使しながら、人間と世界の間を問い直す絵画作品を多数制作。

20 国宝 旧開智学校
松本市開智2丁目4-12 屋外展示

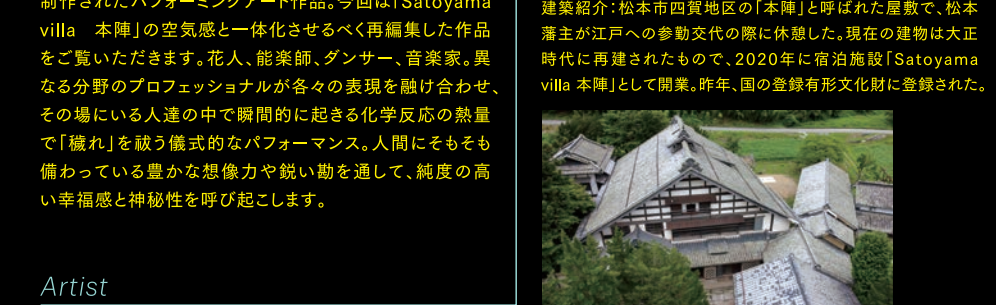
Artist 中島崇 Takashi Nakajima
建築紹介：明治9(1876)年に女鳥羽近くに建設され、昭和38(1963)年まで校舎として使われた後、現在地に移築。建物全体に和洋折衷の装飾があらわれており、日本の文明開花を象徴する建物として万国博覧会でも高い評価を受けたという。



アーティスト略歴：昭和55(1980)年、埼玉県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。[B BOY] (ブレイクダンスをする人)の木彫を軸に、ドローイング、版画、写真、映像など平面作品の制作も行う。

Associate Program ライブパフォーマンス
2/18 [金] 「ELEVEN NINES the PERFORMANCE」

国登録有形文化財 会場 Satoyama villa 本陣
松本市保福寺町246
建築紹介：松本市四賀地区の「本陣」と呼ばれた屋敷で、松本藩主が江戸への参勤交代の際に休憩した。現在の建物は大正時代に再建されたもので、2020年に宿泊施設「Satoyama villa 本陣」として開業。昨年、国の登録有形文化財に登録された。



Artist 熊野寿哉 Hisaya Kumano
花人、空間演出家。幼少から美術に精通し学生時代は油絵を専攻。服飾・衣装デザイナーとしても活躍。20代に生け花の魅力を知り、以降は主に花人として活動。大規模な空間演出や舞台・映画のセットデザインも行う。

辰巳満次郎 Manjiro Tatsumi
電子音楽家、音・リズム・空間音響の経時変容をテーマに、作曲・演奏活動を行う。3人組インストゥルメンタル・バンド「mouse on the keys」の鍵盤奏者としても活躍し、国内外での演奏やCMなどへの楽曲提供を行っている。

アオイヤマダ Aoi Yamada
松本市出身のダンサー。東京2020オリンピック開会式ソロパフォーマンスを行う。舞台や著名アーティストのMVに出演。役者やモデルとしても活躍するほか、楽曲制作・MC・振付など幅広い分野で活動の域を広げている。

Daisuke Niitome
電子音楽家、音・リズム・空間音響の経時変容をテーマに、作曲・演奏活動を行う。3人組インストゥルメンタル・バンド「mouse on the keys」の鍵盤奏者としても活躍し、国内外での演奏やCMなどへの楽曲提供を行っている。

時間：①17:30開場 18:00開演 ②19:00開場 19:30開演 参加費：無料 定員：各回20名
応募方法：マツモト建築芸術祭の公式HPより先着順にて。お名前・連絡先・応募人数(1アカウントにつき2名まで)を記載の上ご応募ください。

Public Program *追加プログラムも予定しています。公式HPをご覧ください。
1/30 [日] 「白鳥真太郎×おおうちおさむ」トークセッション

時間：14:00～15:30 会場：上土劇場(旧ピカデリーホール) 無料 定員：先着40名
マツモト建築芸術祭で総合プロデューサーを務めるおおうちおさむは、若き頃、白鳥真太郎のラフォーレ原宿の広告写真に衝撃を受けました。30年の時を経て、2人が白鳥真太郎生誕の地、上土通りの劇場で語り合います。
応募方法：マツモト建築芸術祭のメールアドレス(sle0115m@gmail.com)宛に先着順にて。お名前・連絡先・応募人数(1アカウントにつき4名まで)を記載の上ご応募ください。

2/4 [金] 兵部 松本×カトマンズ 姉妹都市企画 石川直樹トークイベント「カトマンズとヒマラヤの旅」

時間：15:00～16:30 会場：ヒカリヤニシ 無料 定員：先着20名
マツモト建築芸術祭の会場の一つであるレストランヒカリヤ。通常はラグジュアリーなフレンチレストランとして稼働している様に、石川直樹の作品が展示されます。その作品に囲まれて、石川直樹が松本とゆかりの深いカトマンズ、ヒマラヤの旅を語ります。限定20名様の特典企画、お早めに申し込みください。
応募方法：マツモト建築芸術祭の公式HPより先着順にて。お名前・連絡先・応募人数(1アカウントにつき2名まで)を記載の上ご応募ください。

2/13 [日] 「伊東豊雄×おおうちおさむ×齊藤忠政」トークセッション

時間：14:00～15:30 会場：まつもと市民芸術館 小ホール 無料 定員：先着100名
まつもと市民芸術館の設計を担当した日本を代表する建築家、伊東豊雄とマツモト建築芸術祭の総合ディレクターおおうちおさむ、そして屏風泉明神館の齊藤忠政が、建築、街、松本、未来について語り合います。
応募方法：マツモト建築芸術祭の公式HPより先着順にて。お名前・連絡先・応募人数(1アカウントにつき4名まで)を記載の上ご応募ください。